

講義名	健康の経済学		
科目区分	教養一般		
担当教員	中島 孝子		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 1時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科/2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2018年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

<b>主題と概要</b>
2006年度の健康保険法改正では、初めて予防の概念が導入されました。本科目では医療制度に加え、予防および健康を経済学の視点から考えます。

<b>到達目標</b>
①日本の医療制度の概要、日本の医療制度における今期的問題（高額医薬品、救急車の利用、医療提供における偏りなど）について理解し、それらの解決策を考える。 ②合法的な薬物であるたばこについて、がんをはじめとする多くの生活習慣病の「予防」において禁煙は重要であること、および若年者の喫煙開始をどのように防ぐかについて理解する。 ③予防に関し、がんおよびがん予防について理解し、予防と医療費の問題について理解する。 ④日本人の死亡原因を概観し、終末期医療のありかたについて考える。

<b>提出課題</b>
提出課題として宿題や小テストを課することがあります。詳細は授業中に指示します。

<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>
課題提出後、解説や講評を行います。

<b>評価の基準</b>
成績は100点満点で評価し、60点以上が合格です。配分は定期試験70%、平常点30%（提出課題を含む）です。昨年は履修登録者のうち、75.2%が定期試験を受験し、受験者の96%が合格しました。

<b>履修にあたっての注意・助言他</b>
内容について、難しい点やわかりにくい点がある場合には、オフィスアワー等を利用して積極的に質問をしてください。

<b>教科書</b>
. 使用しない。

<b>プリント資料及び参考文献</b>
授業ではプリント資料を配付します。以下は、本科目の履修において有用な文献です。 康永英生「健康の経済学」中央経済社、2018年 河口洋行「医療の経済学（第3版）」日本評論社、2015年 中井祐之「大学生のための禁煙講座」牧歌舎、2006年

<b>授業計画</b>
1 日本の医療制度 2 検査 (1) 検査の必要性 3 検査 (2) 腎く漏ぼう 4 救急車 (1) 利用の現状 5 救急車 (2) 有料化の是非 6 日本に病院が多い理由 (1) 国際比較 7 日本に病院が多い理由 (2) 日本の特徴と問題点 8 たばこと健康 9 たばこと合理的意思決定 (1) 喫煙の実態 10 たばこと合理的意思決定 (2) 喫煙の意思決定 11 がんを防ぐ (1) がんとは何か 12 がんを防ぐ (2) 生活習慣 13 がんを防ぐ (3) がん検診 14 予防と医療費 15 日本人のおもな死因、終末期医療

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>
授業後、復習をしてください。1回の授業で4時間が目安です。

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>
レスポンスを用いてアンケートなどを実施します。

<b>実務経験の有無及び活用</b>

<b>備考</b>